キャラクター名：作家　千春（さくや　ちはる）

プレイヤー名：

シンドローム	ソラリス / ハヌマーン	ワークス	情報屋	カヴァー	小説家
オプショナル		年齢	18(12/30)	性別	女
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	36 %
出自	天涯孤独	経験	死と再生	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	2	0	0			2
社会	4	1	0			5

HP	24
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体 技能	SL	修正	感覚 技能	SL	修正	精神 技能	SL	修正	社会 技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉	1	
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：執筆 ※経験点を1点使用	1		知識：			情報：〈情報：学問〉	5	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：　0　合計回避：　0

所持品	
コネ：要人への貸し	
コネ：警察官	
コネ：噂好きの友人	
コネ：情報屋	
コネ：ハッカー	
コネ：マスメディア	
制服（学生服）	
携帯電話（スマホ）	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス『起源種』	P	N		
夢の中の少女	P　信頼	N 不信感		
執筆	P　遺志	N　脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　10　残り財産P：　4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
先手必勝	2	-	常時	至近	自身	自動		
効果：自身の【行動値】+[Lv*3]（※侵蝕率基本値に+4）								
限界突破	1	3	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	80%	
効果：1R1回までのエフェクトをひとつ選び、2回まで使用可能にする。1シナリオにLv回。								
抗いがたき言葉	5	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	交渉		
効果：命中時、シーン中のあらゆる判定ダイス-Lv個。								
風の渡し手	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	-	[Lv+1]体	交渉		
効果：組み合わせたエフェクトの対象を[Lv+1]体へ変更。1シーン1回。								
狂乱の一声	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	交渉		
効果：攻撃力+Lv。命中時、相手に憎悪付与。対象はあなたになる。								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ(ｿﾗﾘｽ)	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：C値-Ｌｖ（下限値７）								
盲目の羊	5	3	ｵｰﾄ	至近	単体	自動		
効果：判定ダイス-[Lv+1]個。1R1回。（※判定直前に宣言								
タブレット	2	2	ｵｰﾄ	至近	自身	自動		
効果：ソラリスのエフェクトを［射程：視界］に変更。1シーンLv回まで。								
癒やしの歌	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	交渉		
効果：対象のHPを+[(Lv)D+【精神】]点、回復。（※自身も対象OK）								
竹馬の友	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	自動	-	
効果：取材は交渉術が肝心ですから								
無音の空間	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	自動	-	
効果：守らないで。救わないで。								
過去の追憶	★	3						
効果：								
効果：								

★キャンペーン中止のため、他卓での継続使用NG★
※世界観の関係上、PCが関連した世界で続編シナリオなども存在するためにPCでの使用NG。
「本来、これの続編のシナリオも回すつもりだったので、完走はしてないのでNPCとして出すのは構いません。事件後ではなく出来るだけ事件前が個人的には嬉しい」とのこと。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

「優しい愛が欲しかった。苦しみから救われたかった。だから、小説を書き続けた」
「それが、今度は私が誰かを苦しめていた。もう、小説なんて、書きたくない」

【人物紹介】
イスカリオテに所属する、片目が義眼の女子高生。
一方、「ペイン」という名前でホラーサスペンスを書いている覆面作家でもある。
昔の事故で片目を失った際、耐え難いその「現実（痛み）」に天啓を得て文章力が上がった。
現在は孤児院を去り、弁護士『診鏡みずる』という女性の養子に引き取られ生活している。

【性格】
他者の苦しみを自分の事のように思ってしまえるほどに感受性が強く、繊細で優しい性格。
しかし、109事件によって徐々に『痛み』に固執し、性格に歪みが生じた。
痛くて苦しいものに直面すると、自分を騙すため、さも楽しげに振る舞う癖ができてしまっている。
事件以降も執筆に対する情熱はあり、執筆に夢中になりすぎて寝食を忘れがち。
自身の身だしなみに関してはかなりのズボラ。